



長谷川さんの古地図を使った解説を聞く参加者

### 田沼意次侯生誕300年に向けて

#### ■ぶらり田沼の旅

江戸幕府の老中で、相良藩主を務めた田沼意次のゆかりの地を巡る「ぶらり田沼の旅」が4月22日と5月3日に行われました。

これは、2019年の田沼意次侯生誕300年イベントとして行われ、相良城跡地の市史料館や船着き場の跡とされる「仙台河岸」をはじめ、田沼街道の起点など約3キロのコースを意次侯にふんじた市の学芸員、長谷川倫和さんが古地図を使い解説しながら巡りました。なお、同じ行程のウォークが6月3日にも開催されます。

### 会場を長藤の甘い香りが包む

#### ■東光寺長藤まつり

4月20日から4月下旬まで、東光寺長藤まつりが開催され、市内外から訪れた来場者でにぎわいました。

東光寺の長藤は、磐田市の行興寺から熊野の長藤を一枝譲り受け育てられ、花房が1メートル以上も垂れ下がり、紫色の美しい花をつけます。

今年は例年より早く開花。開催期間中は、夜のライトアップも実施されました。

訪れた人たちは、長藤の香りを楽しんだり、食事をしたりとそれぞれの時間を過ごしていました。



満開の長藤を楽しむ来場者

### もえぎ色の茶畑で笑顔あふれる

#### ■お茶摘み体験とお茶の天ぷらづくり

4月23日、萩間小学校の3年生20人が社会と総合学習の一環として、お茶摘み体験とお茶の天ぷらづくりを行いました。

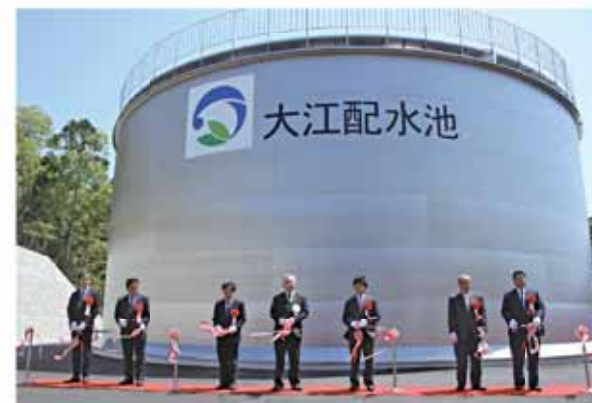
児童らは、学校を見下ろす小高い茶園で学校支援員の野ヶ本すみさんご夫婦から摘み方を教えてもらいながら丁寧に新芽を摘み取りました。

お茶摘み体験をした児童は「教えてもらった一芯二葉で摘み取ることができた」と話しました。

摘み取った新茶は学校へ持ち帰り、さっそく天ぷらにして季節の味を楽しみました。



お茶の摘み取り方を学び茶摘みを楽しむ児童



完成式でテープカットを行う関係者ら

### 水や人、自然が集う『水の駅』

#### ■大江配水池完成式

大江配水池完成式が4月21日に行われました。

この配水池は、耐久性に優れたステンレス鋼板製タンクや地震に強い配管を採用。さらに停電に備えてタンク上に太陽光発電システムを設置しており、100年使用できる配水池として、周辺地域に安定して水を供給することができます。

また、配水池の愛称は「水の駅大江」に決定。敷地内には、休憩スペースや水のしくみを学習できるパネルなども設置され、地域の憩いの場、学習の場としても利用できます。



砂煙を上げて疾走するサラブレッド

### 国内唯一砂浜周回コースを疾走

#### ■第42回さがら草競馬大会

国内唯一の砂浜を周回する「第42回さがら草競馬大会」が4月22日、さがらサンビーチで開催されました。

この日出走した馬は、かつて中央競馬や地方競馬で活躍したサラブレッドやポニーなど約40頭。1周700メートルのコースで予選から決勝まで競い合いました。

当日は天候にも恵まれ、県内外から多くの競馬ファンや観光客などが訪れ、目の前を砂煙を上げて力強く疾走する競走馬の迫力に大きな歓声を上げました。

この他、子どもによる人間草競馬や宝探し、乗馬体験、ヘリコプター遊覧飛行なども行われ、会場は大いににぎわいました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。  
あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

情報交流課 ☎0040 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp



### 抱負を胸に看護の道へ第一歩

#### ■静岡県中部看護専門学校入学式

本市と焼津市、藤枝市、吉田町が運営する静岡県中部看護専門学校の入学式が4月10日、同校講堂で行われました。

今年度の入学者は37人で、本市からは大石果奈さん（静波区）が入学しました。

大石さんは「患者さんのことを第一に考えられるような看護師を目指して頑張りたい」と抱負を語りました。

生徒らは3年間、看護の知識や技術、精神を学び、地域に貢献できる看護師を目指します。



入学式後に抱負を語ってくれた大石さん



伊藤団長から辞令を受ける新入団員の須藤さん

### 地域の安全安心は我々が守る

#### ■平成30年度牧之原市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式が4月1日、静波体育館で行われ、新入団員45人と女性消防隊員2人が新たに辞令を受けました。

伊藤正哉団長は「訓練を重ね、消防団活動に早く慣れることを願っています。若い力を十分に発揮し、自覚と責任、誇りを持って消防団活動を行ってほしい」と新入団員を激励しました。

新入団員の須藤秀基さん（坂部区）は「地域に貢献できるよう、訓練に励んでいきたい」と意気込みを語りました。